

特定非営利活動法人 伊東リトルシニア野球協会 設立趣旨書

1 趣 旨

本格的な少子化時代を迎え、全国的に少年野球の競技人口が減少し、競技の環境も悪化しています。伊東市の10チームあった少年野球チームが今や5チームと半分となり、あと数年でさらに減少していくことが予想されます。また、昨年には伊東市に3校あった高校が1校に再編統合されたにも関わらず、野球部員が10名と、高校でも部員不足となっている現状から、伊東市から野球というスポーツがなくなってしまうのではと危惧する声も挙がっています。そのため、やりたいスポーツができない等といったスポーツに取り組みたい子ども達の受け皿が必要となってきます。

数年前、学校に野球部がない、学校によっては経験のある指導者がいない、狭小なグラウンドで満足のいく練習ができない等、全ての学校が平等に野球環境が整っているというわけではないため、真剣に野球を続けたい、高校野球で甲子園へ出場したいという夢を持っている選手の中には、中学校の野球部には入らず、市外のリトルシニアのチームに入って、硬式野球をしているという現実がありました。選手の中には、何時間もかけて市外まで通って野球をしているという話を聞き、伊東市でリトルシニアのチームが欲しいという話が持ち上がり、「野球が好きな子どもを応援したい、野球を好きな子ども達が少しでも夢に近づけるように力になりたい。」という気持ちから、有志の方々の協力のもと、平成17年1月に「伊東リトルシニア」は発足し、中学生の子ども達に対し、硬式野球経験者の指導による技術力向上、集団行動の大切さ、規則を守り、礼儀、忍耐、努力をすることを身につける取り組みを行ってきました。

しかし、伊東市には中学生が硬式野球ができるグラウンドが一つもありません。今は、廃校になった伊東市内の高校跡地を借りて活動をしています。今後は、硬式野球ができるグラウンドの確保や、選手募集においては、伊東市だけではなく、近隣の市町村からも積極的に選手を集め、高校への進路相談や高校野球部の練習会の参加など、選手が硬式野球を継続していけるよう手助けをしていきたいと思っています。

そのためには、任意団体として活動を継続するよりも、社会的認知、社会的信用の増加が得られる特定非営利活動法人を設立し、様々なイベントへの参加や企画を立案し、幼稚園・保育園等の低年齢層のファミリーを獲得し、他の団体や地域住民との協力により、地域の活性化を図りたいと考えました。そして、多くの会員が活動できる場の確保と運営体制の強化を図り、今まで以上に子ども達の健全育成と硬式野球を中心としたスポーツ振興を通じて社会に貢献する活動を行う組織にすべく、今般、特定非営利活動法人の設立を決意するに至った次第です。

2 申請に至るまでの経過

平成17年1月 任意団体伊東リトルシニア設立

令和6年5月 発起人会開催

令和6年6月 設立総会開催

令和 6年 7月 3日

特定非営利活動法人伊東リトルシニア野球協会
設立代表者 氏 名 穠山 雅史